



LLC-4000, LLC-4000ME

Web メニュー操作時の注意事項

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.0 版

管理番号: VSD-25MA0047-01

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版 2025 年 6 月 25 日 新規作成

目次

1. 概要	4
2. 設定箇所一覧	5
3. 注意事項詳細	7
3.1. ソフトウェアバージョン: V1.3	7
3.1.1. Encoder: ストリーム配信: P2P エンコーダ設定	7
3.1.2. Encoder: ストリーム配信: RTSP サーバ設定	10
3.1.3. Encoder: ストリーム配信: SRT サーバ設定	10
3.1.4. Decoder: ストリーム受信: P2P デコーダ設定	11
3.1.5. Decoder: ストリーム受信: SRT クライアント設定	14
3.2. ソフトウェアバージョン: V2.1	16
3.2.1. Encoder: ストリーム配信: P2P エンコーダ設定	16
3.2.2. Encoder: ストリーム配信: RTSP サーバ設定	21
3.2.3. Encoder: ストリーム配信: SRT サーバ設定	21
3.2.4. Encoder: UDP トンネリング: シリアル通信条件設定	22
3.2.5. Decoder: ストリーム受信: P2P デコーダ設定	24
3.2.6. Decoder: ストリーム受信: SRT クライアント設定	29
3.2.7. Decoder: UDP トンネリング: シリアル通信条件設定	30

1. 概要

LLC-4000, LLC-4000ME の Web メニューを操作する場合に使用するブラウザに関して、Edge や Chrome の最近リリースされているバージョンを利用した場合に、本来、選択肢として表示されない項目が一部のプルダウンリストに表示されるという現象が発生しています。

本資料では、無効な選択肢が表示される具体箇所および注意事項について説明します。

なお、本現象が発生している場合でも、取扱説明書に記載の有効な選択肢を選択すれば、エラーの発生や異常動作をすることはありません。

本現象が発生するブラウザのバージョンについて、これまで調査した状況は、以下の通りです。

ブラウザ	バージョン	無効選択肢の発生有無
Edge	130.0.2849.99	○(発生せず)
	131.0.2903.48	×(発生)
	136.0.3240.92	×(発生)
Chrome	134.0.6998.118	○(発生せず)
	135.0.7049.96	×(発生)
	137.0.7151.56	×(発生)

2. 設定箇所一覧

(1) ソフトウェアバージョン:V1.3 の場合

動作モード	メニュー	設定項目
Encoder	ストリーム配信	P2P エンコーダ設定:基本設定→映像符号化 と 基本設定→音声符号化 の組合せ
		P2P エンコーダ設定:詳細設定→配信オプション
		P2P エンコーダ設定:基本設定→配信先 と 詳細設定→配信オプション の組合せ
		P2P エンコーダ設定:詳細設定→配信オプション と 詳細設定→映像符号化オプション の組合せ
		P2P エンコーダ設定:詳細設定→映像符号化オプション と 詳細設定→蓄積 の組合せ
		RTSP サーバ設定:基本設定→映像符号化 と 基本設定→音声符号化 の組合せ
		SRT サーバ設定:基本設定→映像符号化 と 基本設定→音声符号化 の組合せ
Decoder	ストリーム受信	P2P デコーダ設定:基本設定→音声復号化
		P2P デコーダ設定:詳細設定→ストリーム受信オプション
		P2P デコーダ設定:基本設定→映像復号化 と 基本設定→音声復号化 の組合せ
		P2P デコーダ設定:基本設定→映像/音声復号化モード と 詳細設定→ストリーム受信オプション の組合せ
		SRT クライアント設定:基本設定→音声復号化
		SRT クライアント設定:基本設定→映像復号化 と 基本設定→音声復号化 の組合せ

(2) ソフトウェアバージョン:V2.1 の場合

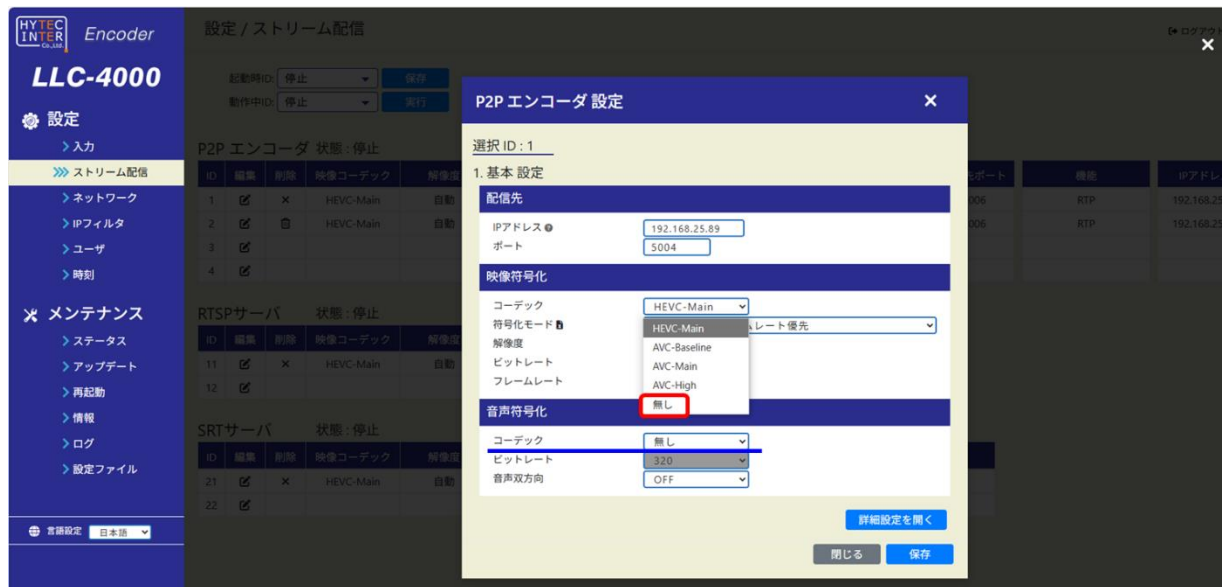
動作モード	メニュー	設定項目
Encoder	ストリーム配信	P2P エンコーダ設定:基本設定→映像符号化 と 基本設定→音声符号化 の組合せ
		P2P エンコーダ設定:詳細設定→配信オプション
		P2P エンコーダ設定:基本設定→配信先 と 詳細設定→配信オプション の組合せ
		P2P エンコーダ設定:詳細設定→配信オプション と 詳細設定→映像符号化オプション の組合せ
		P2P エンコーダ設定:詳細設定→映像符号化オプション と 詳細設定→蓄積 の組合せ
		P2P エンコーダ設定:基本設定→配信先 と 基本設定→映像符号化 の組合せ
		P2P エンコーダ設定:基本設定→配信先 と 基本設定→音声符号化 の組合せ
		P2P エンコーダ設定:基本設定→映像符号化 と 詳細設定→配信オプション の組合せ
		RTSP サーバ設定:基本設定→映像符号化 と 基本設定→音声符号化 の組合せ
		SRT サーバ設定:基本設定→映像符号化 と 基本設定→音声符号化 の組合せ
	UDP トンネリング	シリアル通信条件設定:インタフェース と フロー制御 の組合せ
Decoder	ストリーム受信	P2P デコーダ設定:基本設定→音声復号化
		P2P デコーダ設定:詳細設定→ストリーム受信オプション
		P2P デコーダ設定:基本設定→映像復号化 と 基本設定→音声復号化 の組合せ
		P2P デコーダ設定:基本設定→映像/音声復号化モード と 詳細設定→ストリーム受信オプション の組合せ
		P2P デコーダ設定:基本設定→映像/音声復号化モード と 詳細設定→蓄積 の組合せ
		P2P デコーダ設定:基本設定→映像/音声復号化モード
		SRT クライアント設定:基本設定→音声復号化
		SRT クライアント設定:基本設定→映像復号化 と 基本設定→音声復号化 の組合せ
	UDP トンネリング	シリアル通信条件設定:インタフェース と フロー制御 の組合せ

3. 注意事項詳細

3.1. ソフトウェアバージョン:V1.3

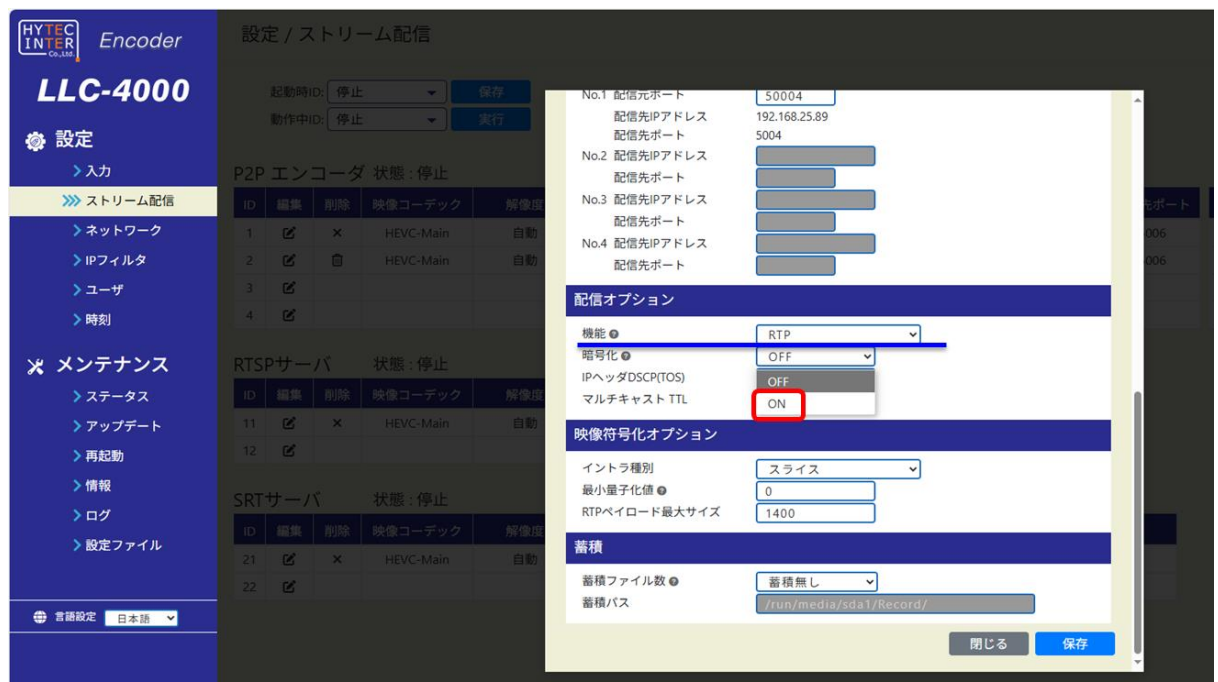
3.1.1. Encoder:ストリーム配信:P2P エンコーダ設定

(1)基本設定:映像符号化と基本設定:音声符号化の組合せ



映像コーデックと音声コーデックは、**どちらも'無し'を選択することは無効です。**

(2)詳細設定:配信オプション:機能と暗号化の組合せ



機能を' RTP'、' RTP/RTCP+AVPF(再送)'、' RTP+FEC(10%冗長)'、' RTP+FEC(30%冗長)'、' RTP+FEC(50%冗長)' のいずれかで選択している場合、暗号化を' ON' で選択は無効です。

(3) 詳細設定: 配信先と詳細設定: 配信オプションの組合せ



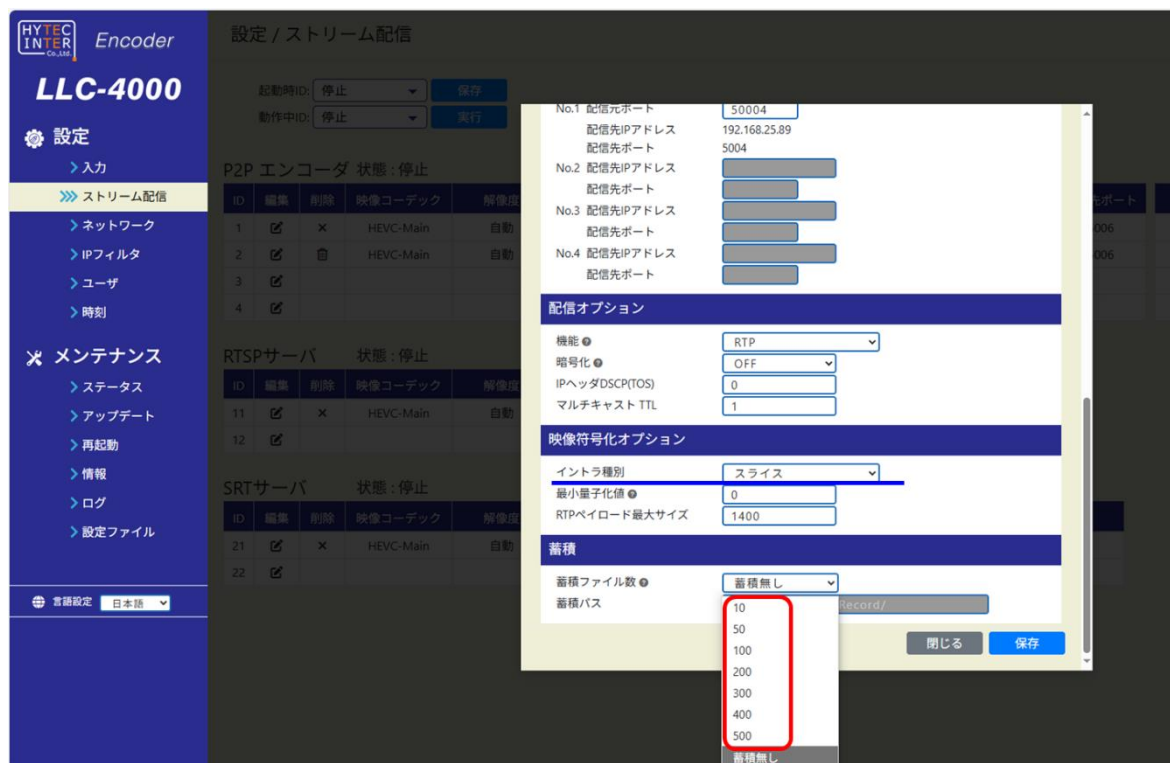
複数配信を' ON' で選択している場合、機能を' RTP/RTCP'、' RTP/RTCP+AVPF(再送)'、' RTP/RTCP+FEC(10%冗長)'、' RTP/RTCP+FEC(30%冗長)'、' RTP/RTCP+FEC(50%冗長)' のいずれかで選択は無効です。

(4) 詳細設定: 配信オプションと詳細設定: 映像符号化オプションの組合せ



機能を' RTP+ FEC(10%冗長)'、' RTP+ FEC(30%冗長)'、' RTP+ FEC(50%冗長)'、
' RTP/RTCP+FEC(10%冗長)'、' RTP/RTCP+FEC(30%冗長)'、' RTP/RTCP+FEC(50%冗長)' のい
ずれかで選択している場合、**イントラ種別を'バリエャブルフレーム'で選択は無効**です。

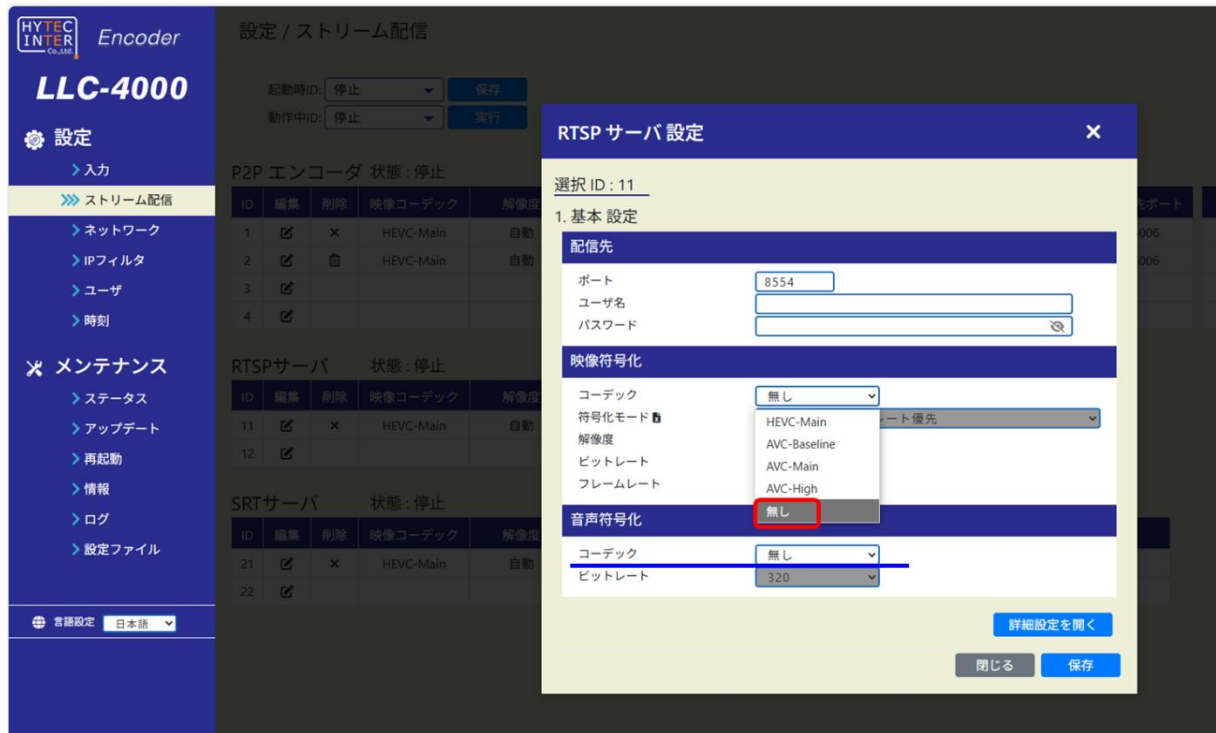
(5) 詳細設定:映像符号化オプションと詳細設定:蓄積の組合せ



イントラ種別を'スライス'で選択している場合、**蓄積ファイル数**を
'10'、'50'、'100'、'200'、'300'、'400'、'500'のいずれかで選択は無効です。

3.1.2. Encoder:ストリーム配信:RTSP サーバ設定

(1) 基本設定:映像符号化と基本設定:音声符号化の組合せ



映像コーデックと音声コーデックは、**どちらも'無し'を選択することは無効**です。

3.1.3. Encoder:ストリーム配信:SRT サーバ設定

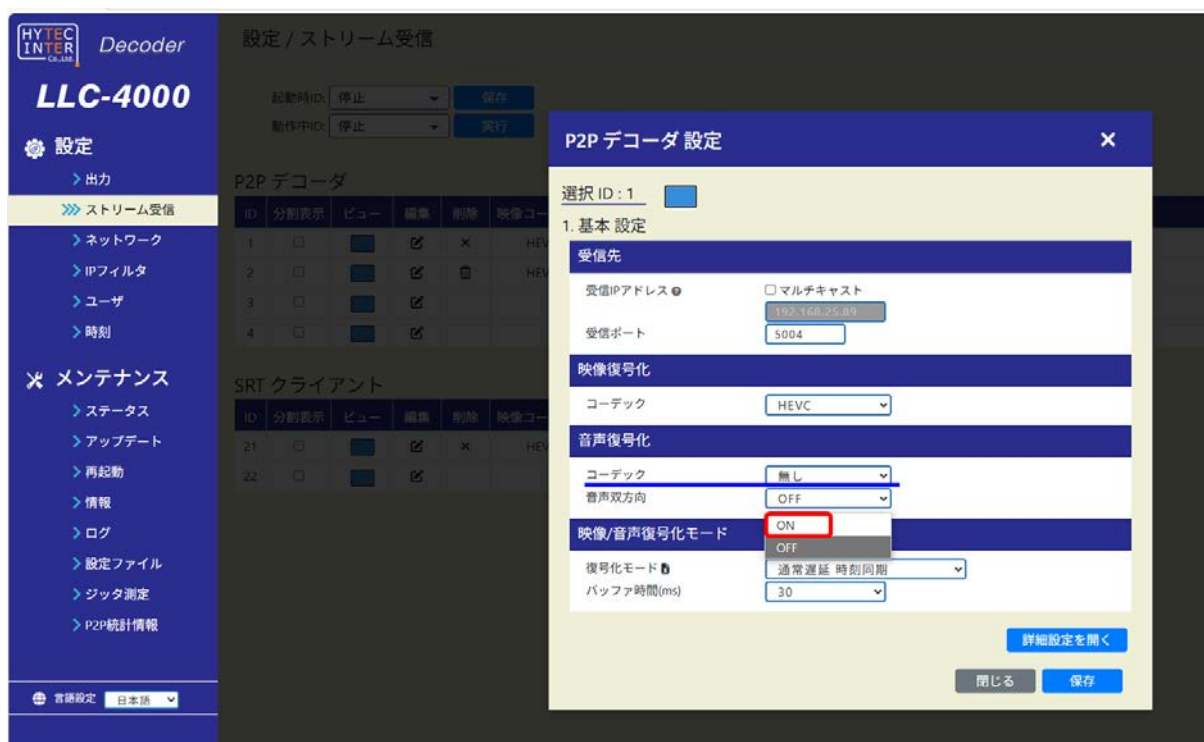
(1) 基本設定:映像符号化と基本設定:音声符号化の組合せ



映像コーデックと音声コーデックは、**どちらも'無し'を選択することは無効**です。

3.1.4. Decoder:ストリーム受信:P2P デコーダ設定

(1) 基本設定: 音声復号化:コーデックと音声双方向の組合せ



音声コーデックを'無し'で選択している場合、**音声双方向を'ON'で選択は無効**です。

(2) 詳細設定: ストリーム受信オプション: 機能と暗号化の組合せ



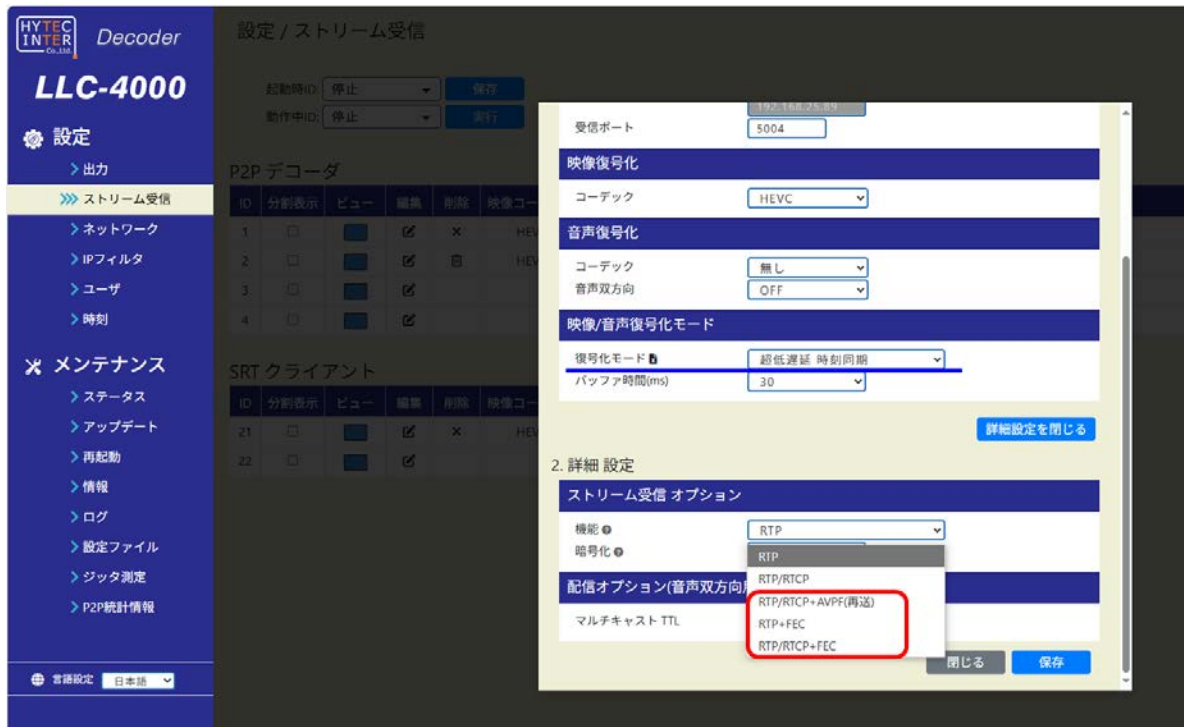
機能を' RTP'、' RTP/RTCP+AVPF(再送)'、' RTP+FEC' のいずれかで選択している場合、**暗号化を' ON' で選択は無効**です。

(3) 基本設定: 映像復号化と基本設定: 音声復号化の組合せ



映像コーデックと音声コーデックは、**どちらも' 無し' を選択することは無効**です。

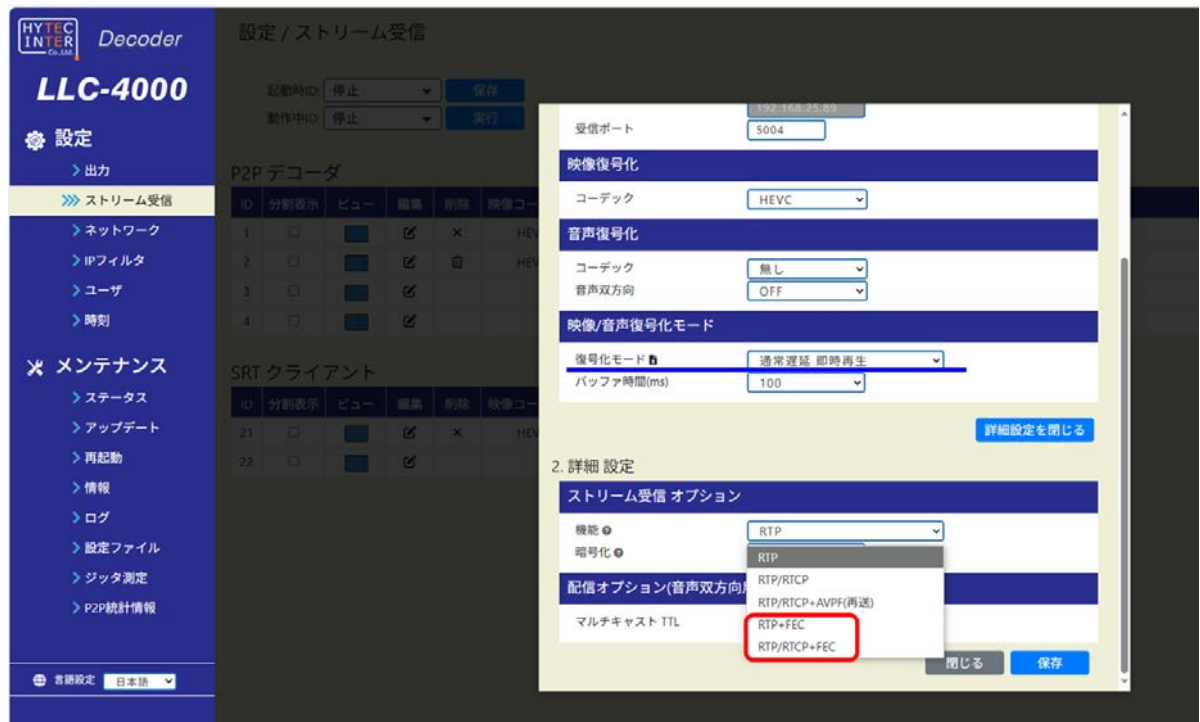
(4) 基本設定:映像/音声復号化モードと詳細設定:ストリーム受信オプションの組合せ



復号化モードを'超低遅延 時刻同期'で選択している場合、機能を'RTP/RTCP+AVPF(再送)'、'RTP+FEC'、'RTP/RTCP+FEC'のいずれかで選択は無効です。



復号化モードを'通常遅延 時刻同期'で選択している場合、機能を'RTP/RTCP+AVPF(再送)'で選択は無効です。



復号化モードを'通常遅延 即時再生'で選択している場合、機能を'RTP+FEC'または'RTP/RTCP+FEC'で選択は無効です。

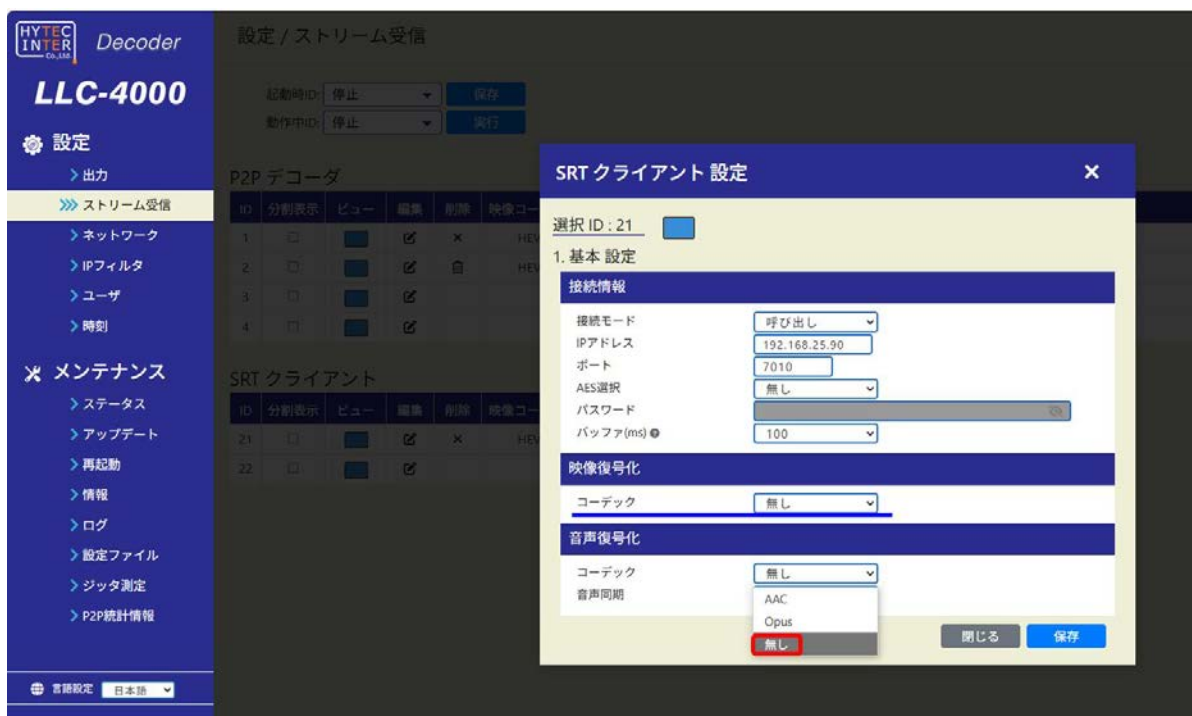
3.1.5. Decoder:ストリーム受信:SRT クライアント設定

(1) 基本設定: 音声復号化:コーデックと音声同期の組合せ



音声コーデックを'無し'で選択している場合、**音声同期を'ON'で選択は無効**です。

(2) 基本設定:映像復号化と基本設定:音声復号化の組合せ



映像コーデックと音声コーデックは、**どちらも'無し'を選択することは無効**です。

3.2. ソフトウェアバージョン:V2.1

3.2.1. Encoder:ストリーム配信:P2P エンコーダ設定

(1) 基本設定:映像符号化と基本設定:音声符号化の組合せ



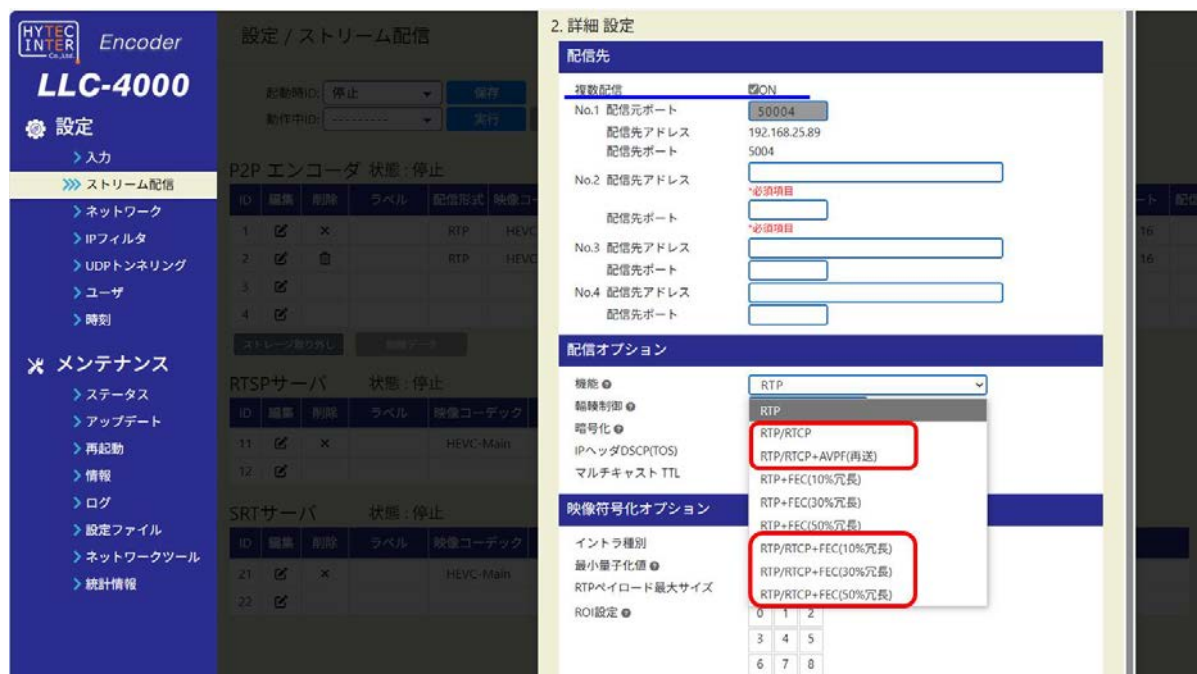
映像コーデックと音声コーデックは、**どちらも'無し'を選択することは無効です。**

(2) 詳細設定:配信オプション:機能と暗号化の組合せ



機能を'RTP'、'RTP/RTCP+AVPF(再送)'、'RTP+FEC(10%冗長)'、'RTP+FEC(30%冗長)'、'RTP+FEC(50%冗長)'のいずれかで選択している場合、暗号化を'ON'で選択は無効です。

(3) 詳細設定: 配信先と詳細設定: 配信オプションの組合せ



複数配信を'ON'で選択している場合、機能を'RTP/RTCP'、'RTP/RTCP+AVPF(再送)'、'RTP/RTCP+FEC(10%冗長)'、'RTP/RTCP+FEC(30%冗長)'、'RTP/RTCP+FEC(50%冗長)'のいずれかで選択は無効です。

(4) 詳細設定: 配信オプションと詳細設定: 映像符号化オプションの組合せ

2. 詳細設定

配信先

複数配信 ☐ ON

No.1 配信元ポート 50004
配信先アドレス 192.168.25.89
配信先ポート 5004

No.2 配信先アドレス
配信先ポート

No.3 配信先アドレス
配信先ポート

No.4 配信先アドレス
配信先ポート

配信オプション

機能

輻射制御

暗号化

IPヘッダDSCP(TOS) 0

マルチキャスト TTL 1

映像符号化オプション

イントラ種別

最小量子化値

RTPペイロード最大サイズ

ROI設定

ROI設定

3 4 5
6 7 8

機能を' RTP+ FEC(10%冗長)'、' RTP+ FEC(30%冗長)'、' RTP+ FEC(50%冗長)'、
' RTP/RTCP+FEC(10%冗長)'、' RTP/RTCP+FEC(30%冗長)'、' RTP/RTCP+FEC(50%冗長)' のい
ずれかで選択している場合、**イントラ種別を'バリアブルフレーム'で選択は無効**です。

(5) 詳細設定: 映像符号化オプションと詳細設定: 蓄積の組合せ

2. 詳細設定

配信先

複数配信 ☐ ON

No.1 配信元ポート 50004
配信先アドレス 192.168.25.89
配信先ポート 5004

No.2 配信先アドレス
配信先ポート

No.3 配信先アドレス
配信先ポート

No.4 配信先アドレス
配信先ポート

配信オプション

機能

輻射制御

暗号化

IPヘッダDSCP(TOS) 0

マルチキャスト TTL 1

映像符号化オプション

イントラ種別

最小量子化値

RTPペイロード最大サイズ

ROI設定

ROI設定

3 4 5
6 7 8

蓄積

蓄積ファイル数

蓄積パス

閉じる 保存

蓄積ファイル数を

’10’、’50’、’100’、’200’、’300’、’400’、’500’のいずれかで選択している場合、

イントラ種別を’スライス’で選択は無効です。

(6) 基本設定:配信先と基本設定:映像符号化の組合せ



配信形式を’TS’で選択している場合、符号化モードを’超低遅延:フレームレート優先’で選択は無効です。

(7) 基本設定:配信先と基本設定:音声符号化の組合せ



配信形式を' RTP'、音声コーデックを' 無し' で選択している場合、音声双方向を' ON' で選択は無効です。

(8) 基本設定:映像符号化と詳細設定:配信オプションの組合せ

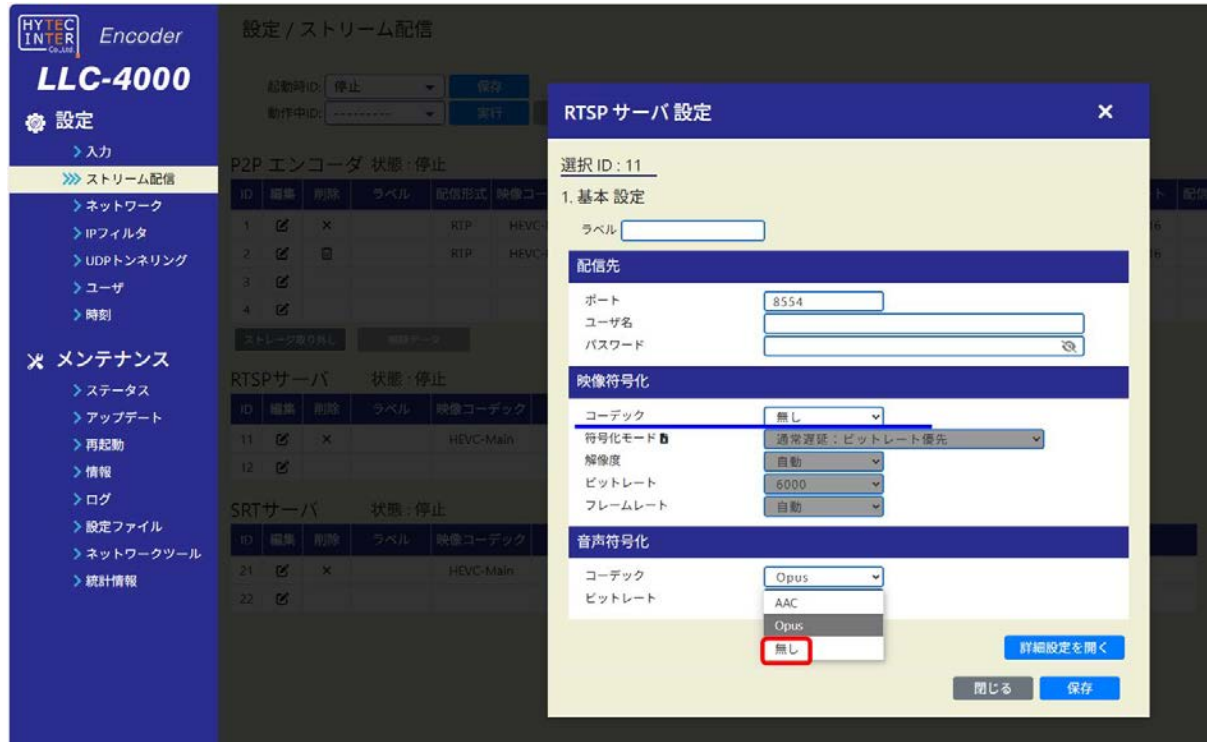


映像フレームレートを' 2' 以上、配信機能を' RTP'、' RTP+ FEC(10%冗長)'、' RTP+ FEC(30%冗長)'、' RTP+ FEC(50%冗長)' のいずれかで選択している場合、輻輳制御を' ON' で選択は無効で

す。

3.2.2. Encoder:ストリーム配信:RTSP サーバ設定

(1) 基本設定:映像符号化と基本設定:音声符号化の組合せ



映像コーデックと音声コーデックは、**どちらも'無し'を選択することは無効です。**

3.2.3. Encoder:ストリーム配信:SRT サーバ設定

(1) 基本設定:映像符号化と基本設定:音声符号化の組合せ



映像コーデックと音声コーデックは、**どちらも'無し'を選択することは無効**です。

3.2.4. Encoder:UDP トンネリング:シリアル通信条件設定

(1) インタフェースとフロー制御の組合せ

HYTEC
INTER
Co., Ltd.

Encoder

LLC-4000

設定

- 入力
- ストリーム配信
- ネットワーク
- IPフィルタ
- UDPトンネリング
- ユーザ
- 時刻

メンテナンス

- ステータス
- アップデート
- 再起動
- 情報
- ログ
- 設定ファイル
- ネットワークツール
- 統計情報

設定 / UDPトンネリング

UDPトンネリング設定

操作
チャンネル1
ログ

チャンネル1

実行状態 停止

シリアル通信条件設定

インタフェース	RS232	
終端	RS232	0D
スピード	RS485-2W	
データ	RS485-4W	
パリティ	RS422	
ストップビット	1	
フロー制御	XON-XOFF	

UDP設定

リモートアドレス	192.168.25.89
ポート	60000

保存

フロー制御を'XON-XOFF'で選択している場合、**インタフェースを'RS485-2W'で選択は無効**です。

HYTEC
INTER
Co., Ltd. Encoder

LLC-4000

設定

- 入力
- ストリーム配信
- ネットワーク
- IPフィルタ
- UDPトンネリング
- ユーザ
- 時刻

メンテナンス

- ステータス
- アップデート
- 再起動
- 情報
- ログ
- 設定ファイル
- ネットワークツール
- 統計情報

設定 / UDPトンネリング

UDPトンネリング設定

操作 チャンネル1 ログ

チャンネル1

実行状態 停止

シリアル通信条件設定

インタフェース	RS232
終端	RS232 0D
スピード	RS485-2W
データ	RS485-4W
パリティ	RS422
ストップビット	1
フロー制御	RTS-CTS

UDP設定

リモートアドレス	192.168.25.89
ポート	60000

保存

フロー制御を'RTS-CTS'で選択している場合、インタフェースを'RS485-2W'、'RS485-4W'、'RS422'のいずれかで選択は無効です。

3.2.5. Decoder:ストリーム受信:P2P デコーダ設定

(1)基本設定:音声復号化:コーデックと音声双方向の組合せ



音声コーデックを'無し'で選択している場合、音声双方向を'ON'で選択は無効です。

(2) 詳細設定:ストリーム受信オプション:機能と暗号化の組合せ



機能を'RTP'、'RTP/RTCP+AVPF(再送)'、'RTP+FEC'のいずれかで選択している場合、暗号化を'ON'で選択は無効です。

詳細設定:ストリーム受信オプション:機能と輻輳制御の組合せ

LLC-4000 Decoder

設定 / ストリーム受信

起動時ID: 停止 実行
動作中ID: 実行

P2P デコーダ

ID	分割表示	ビュー	編集	削除	ラベル
1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

ストレージ取り消し 受信切替

SRT クライアント

ID	分割表示	ビュー	編集	削除	ラベル
21	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
22	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

2. 詳細 設定

ストリーム受信 オプション

機能: RTP
輻輳制御: OFF
冗余化: OFF
配信オプション(音声双方向用): ON
マルチキャスト TTL: 1
蓄積: 蓄積ファイル数: 蓄積無し
蓄積バス: Record
映像蓄積ビットレート: 1000

閉じる 保存

機能を' RTP'、' RTP+FEC' のいずれかで選択している場合、輻輳制御を' ON' で選択は無効です。

(3) 基本設定:映像復号化と基本設定:音声復号化の組合せ

LLC-4000 Decoder

設定 / ストリーム受信

起動時ID: 停止 実行
動作中ID: 実行

P2P デコーダ

ID	分割表示	ビュー	編集	削除	ラベル
1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

ストレージ取り消し 受信切替

SRT クライアント

ID	分割表示	ビュー	編集	削除	ラベル
21	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
22	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

P2P デコーダ 設定

選択 ID: 1

1. 基本 設定

ラベル:

受信先

受信ストリーム切替: 無し
受信ストリーム1: ☐ マルチキャスト
IPアドレス: 192.168.25.89
受信ポート: 5004

映像復号化

コーデック: 無し

音声復号化

コーデック: Opus
音声双方向: AAC

映像/音声復号化モード

復号化モード: 無し
バッファ時間(ミリ秒): 20

詳細設定を開く

閉じる 保存

映像コーデックを' 無し' で選択している場合、音声コーデックを' 無し' で選択は無効です。

(4) 基本設定:映像/音声復号化モードと詳細設定:ストリーム受信オプションの組合せ

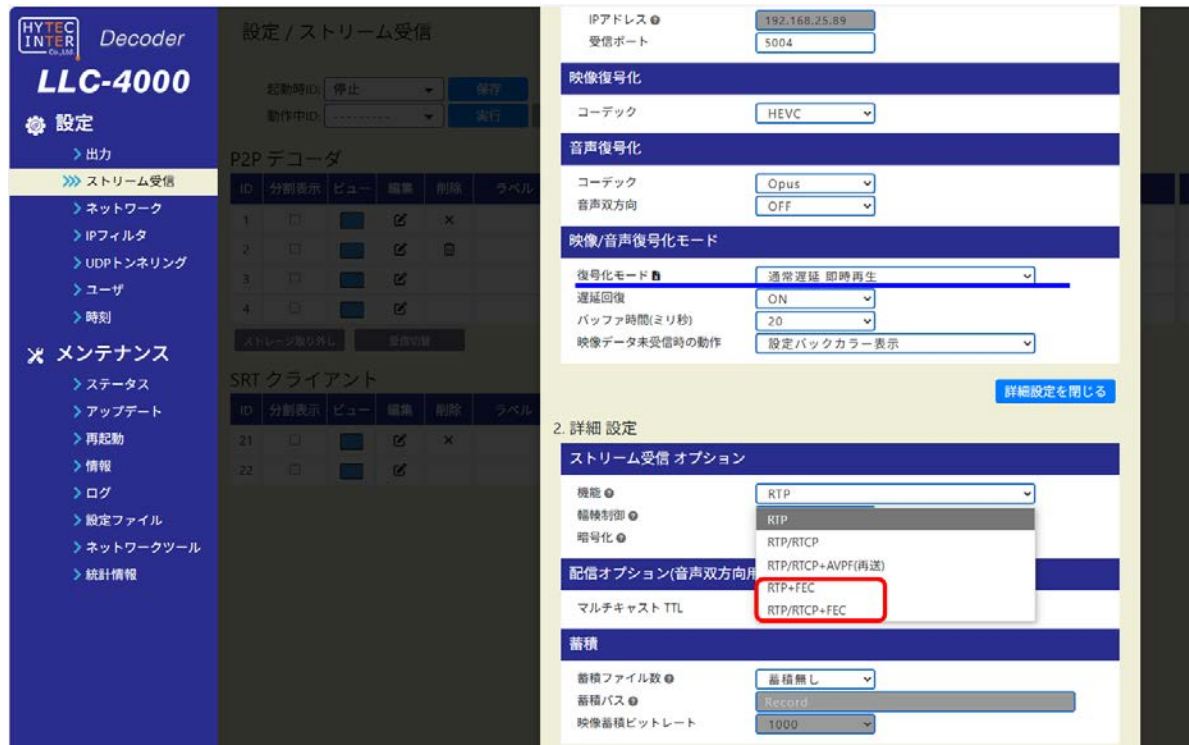
The screenshot shows the 'LLC-4000' web interface. On the left is a navigation menu with '設定' (Settings) selected. The main area is divided into '基本設定' (Basic Settings) and '2. 詳細設定' (2. Detailed Settings). In the '基本設定' section, '映像復号化' (Video Decoding) is set to 'HEVC' and '音声復号化' (Audio Decoding) is set to 'Opus'. The '映像/音声復号化モード' (Video/Audio Decoding Mode) is set to '超低遅延 時刻同期' (Ultra-low latency, clock synchronization). In the '2. 詳細設定' section, 'ストリーム受信 オプション' (Stream Reception Options) is expanded, showing a dropdown for '機能' (Function) with options: RTP, RTP/RTCP, RTP/RTCP+AVPF(再送), RTP+FEC, and RTP/RTCP+FEC. The 'RTP/RTCP+AVPF(再送)' option is highlighted with a red box. Other settings include 'バッファ時間(ミリ秒)' (Buffer time) set to 20 and 'マルチキャスト TTL' (Multicast TTL) set to 1000.

復号化モードを'超低遅延 時刻同期'で選択している場合、機能を'RTP/RTCP+AVPF(再送)'、'RTP+FEC'、'RTP/RTCP+FEC'のいずれかで選択は無効です。

The screenshot shows the 'LLC-4000' web interface. On the left is a navigation menu with '設定' (Settings) selected. The main area is divided into '基本設定' (Basic Settings) and '2. 詳細設定' (2. Detailed Settings). In the '基本設定' section, '映像復号化' (Video Decoding) is set to 'HEVC' and '音声復号化' (Audio Decoding) is set to 'Opus'. The '映像/音声復号化モード' (Video/Audio Decoding Mode) is set to '通常遅延 時刻同期' (Normal latency, clock synchronization). In the '2. 詳細設定' section, 'ストリーム受信 オプション' (Stream Reception Options) is expanded, showing a dropdown for '機能' (Function) with options: RTP, RTP/RTCP, RTP/RTCP+AVPF(再送), RTP+FEC, and RTP/RTCP+FEC. The 'RTP/RTCP+AVPF(再送)' option is highlighted with a red box. Other settings include 'バッファ時間(ミリ秒)' (Buffer time) set to 20 and 'マルチキャスト TTL' (Multicast TTL) set to 1000.

復号化モードを'通常遅延 時刻同期'で選択している場合、機能を'RTP/RTCP+AVPF(再送)'で

選択は無効です。



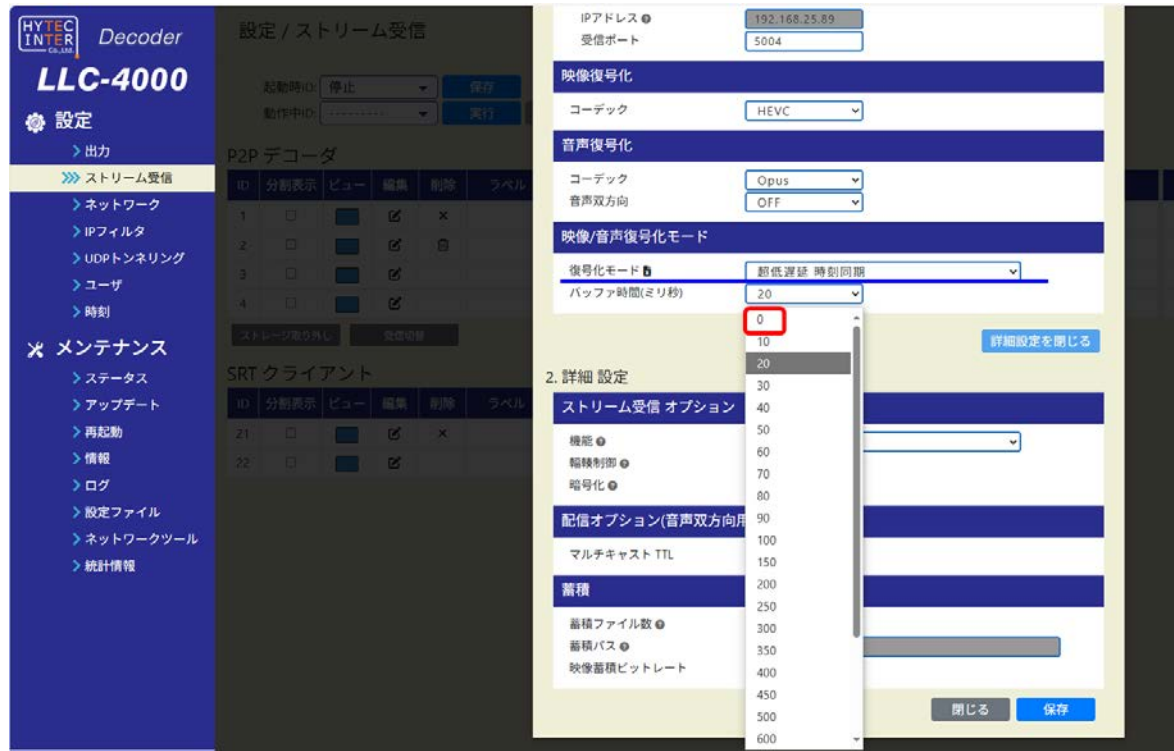
復号化モードを'通常遅延 即時再生'で選択している場合、機能を'RTP+FEC'または'RTP/RTCP+FEC'で選択は無効です。

(5) 基本設定:映像/音声復号化モードと詳細設定:蓄積の組合せ



復号化モードを'超低遅延 時刻同期'で選択している場合、蓄積ファイル数を'10'、'50'、'100'、'200'、'300'、'400'、'500'のいずれかで選択は無効です。

(6) 基本設定:映像/音声復号化モード:復号化モードとバッファ時間の組合せ



復号化モードを'超低遅延 時刻同期'、'通常遅延 時刻同期'のいずれかで選択している場合、バッファ時間を'0'で選択は無効です。

3.2.6. Decoder:ストリーム受信:SRT クライアント設定

(1) 基本設定:音声復号化:コーデックと音声同期の組合せ



音声コーデックを'無し'で選択している場合、音声同期を'ON'で選択は無効です。

(2) 基本設定:映像復号化と基本設定:音声復号化の組合せ



映像コーデックと音声コーデックは、どちらも'無し'を選択することは無効です。

3.2.7. Decoder:UDP トンネリング:シリアル通信条件設定

(1) インタフェースとフロー制御の組合せ

Decoder
LLC-4000

設定

- 出力
- ストリーム受信
- ネットワーク
- IPフィルタ
- UDPトンネリング
- ユーザー
- 時刻

メンテナンス

- ステータス
- アップデート
- 再起動
- 情報
- ログ
- 設定ファイル
- ネットワークツール
- 統計情報

設定 / UDPトンネリング

UDPトンネリング設定

操作 | チャンネル1 | ログ

チャンネル1

実行状態 停止

シリアル通信条件設定

インタフェース RS232

終端 RS232 0D

スピード RS485-2W

データ RS485-4W

パリティ RS422

ストップビット 1

フロー制御 XON-XOFF

UDP設定

リモートアドレス 192.168.25.90

ポート 60000

保存

フロー制御を'XON-XOFF'で選択している場合、インタフェースを'RS485-2W'で選択は無効です。

Decoder
LLC-4000

設定

- 出力
- ストリーム受信
- ネットワーク
- IPフィルタ
- UDPトンネリング
- ユーザー
- 時刻

メンテナンス

- ステータス
- アップデート
- 再起動
- 情報
- ログ
- 設定ファイル
- ネットワークツール
- 統計情報

設定 / UDPトンネリング

UDPトンネリング設定

操作 | チャンネル1 | ログ

チャンネル1

実行状態 停止

シリアル通信条件設定

インタフェース RS232

終端 RS232 0D

スピード RS485-2W

データ RS485-4W

パリティ RS422

ストップビット 1

フロー制御 RTS-CTS

UDP設定

リモートアドレス 192.168.25.90

ポート 60000

保存

フロー制御を'RTS-CTS'で選択している場合、インタフェースを'RS485-2W'、'RS485-4W'、'RS422'のいずれかで選択は無効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間： 平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL: 0570-060030

問合せフォーム: https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html



Copyright © 2025

HYTEC INTER Co., Ltd.